



NPO 法人 つくば環境フォーラム

平成 27 年度 活動報告

特定非営利活動法人（NPO 法人）「つくば環境フォーラム」は、つくば周辺地域の環境をよりよい形で未来世代に引き継ぐことを目的に、地域の環境保全の実践・環境教育活動・行政等への提言活動を展開しています。平成 27 年度は以下の活動を行いました。

1. オオムラサキの棲む里山づくり（環境の調査・研究・保全事業） 参加者総計 のべ 550 名

国蝶オオムラサキを良好な里山の象徴として、この蝶が棲み続けられる雑木林の保全・再生事業を、つくば市下平塚で展開しています。この地域には、周辺の開発が進んだ後も、緑の島として民有林と県有地合わせて 20ha を超える里山の自然が残ります。オオムラサキをはじめとする生物の多様性が保たれる里山の手入れを行い、子どもたちが身近な自然とふれあい学ぶ場として活用することをめざして、保全活動・体験活動を行いました。助成活動の最終年の成果として「里山学習ハンドブック」を作成し、配布しました。

（ブルデンシャル生命保険・住宅エコポイント寄附対象事業）

（平成 27 年 9 月まで三井物産環境基金助成事業）



・森づくりボランティア

民有林である保健保安林では平成 15 年より森づくりボランティアを継続しています。今年度も筑波大学・筑波学院大学の学生がインターンとして参加し、4 月には NOK グループユニオンの方々の参加もありました。夏の蝶や冬の越冬幼虫を皆で観察して、オオムラサキが森に定着したことを確認できました。

・里山こどもワンダーランド作戦

親子自然体験プログラム「里山こどもワンダーランド探検隊」を森ボラと同日の午前中に開催し、子どもたちも森の手入れ、オオムラサキの越冬幼虫調査、植樹活動等に参加しました。

・自然あそび塾

平成 27 年度より、小学生の自然体験活動「自然あそび塾」を森ボラと同日の午後に実施しています。子どもたちが森に出会い森を理解するきっかけとなる活動を、自然が好きな大人のサポーターとともに作りあげる試行的な取り組みです。

（パルシステム茨城くらし活動助成基金助成）

実施日	森ボラ	ワンダー	自然あそび塾
4 月 25 日	23 名	46 名	15 名
6 月 13 日	7 名	36 名	16 名
7 月 19 日	8 名	14 名	15 名
8 月 29 日	10 名	-	8 名
9 月 19 日	8 名	39 名	12 名
10 月 25 日	-	25 名	13 名
11 月 28 日	13 名	27 名	16 名
12 月 23 日	8 名	36 名	15 名
1 月 23 日	6 名	16 名	18 名
2 月 20 日	6 名	順延	順延
3 月 21 日	-	46 名	15 名
3 月 26 日	7 名	13 名	13 名
参加者計	96 名	298 名	156 名



森ボラ(筑波学院大学生と作業・NOK グループユニオンの皆さん) オオムラサキの観察(ワンダー) 水路の生きもの探し(自然塾)

2. 葛城大規模緑地利活用体制構築（環境の調査・研究・保全事業） 参加者総計 のべ 534 名

市街地に隣接して残された葛城大規模緑地（県有地）は、自然環境を保全しつつ、地域資源としての活用を進めることをめざしています。昨年度、将来ビジョンと行動計画を策定したことから、今年度は市民協働の里山づくりにむけて具体的な取り組みをしました。この事業は、一般財団法人つくば都市交通センターとの連合体として茨城県から委託されました。5 月に「葛城里山クラブ」を設立し(記念イベント 45 名)、6 月から毎月自然観察会「里山散歩」を実施して(9 回のべ 185 名)、周辺住民に緑地の認知と協働活動への参加を促しました。また、森林整備や維持管理を担う「葛城フォレスター」を募集し、育成講座を 2 日間行い(のべ 48 名)、夏場に市民協働での草刈り活動を実施しました(のべ 132 名)。葛城里山クラブには、平成 27 年度中に約 250 名の登録があり、葛城フォレスターには 30 名が研修を受けて登録しました。3 月には造成地に 310 本の苗木を植えるイベント「里山を育てるマイツリー大作戦」に 124 名が参加しました。



葛城里山クラブ設立記念イベント（集合と森の案内）



8月の里山散歩



オオムラサキ越冬幼虫調査



フォレスタービジョン研修



フォレスター刈り払い機安全講習



草刈り作業（植樹地）



森の手入れ作業



葛城フォレスターの皆さん



3月里山を育てるマイツリー作戦（植樹活動）

3. 筑波山ファンクラブ（環境教育推進事業） 参加者総計 のべ137名

筑波山の豊かな自然を守り育てる人の輪を広げることを目指し、10回の観察会や調査活動を実施しました。メンバー登録制で、平成27年度の登録者は109名でした。毎回の報告をカラーの「筑波山便り」として発行し、ファンクラブメンバーに送付しています。

実施日	テーマ	参加者数
4月19日	裏筑波のカタクリと早春の植物	11名
5月6日	加波山・春の植物	13名
6月6日	雪入山・雪入しぜんの道での自然観察	11名
8月16日	筑波山・広根場林道の自然観察	10名
9月6日	筑波山・自然研究路の植物	12名
10月12日	筑波山・自然展とブナ結実調査	9名
11月23日	つくば市筑波山市有林観察会	15名
12月20日	雨引山・冬の野鳥観察	22名
2月11日	筑波山麓を歩く	20名
3月27日	宝篋山・早春のスミレ観察	14名



9/6 成島明先生を講師に植物観察



12/20 石井省三先生を講師に野鳥観察

4. 筑波山における環境教育事業（環境教育推進事業）

参加者総計 のべ3557名



・筑波山ビジターセンター事業

観光物産課と協働で平成25年度より実施。今年度は、7月18日～26日にケーブルカー山頂駅2階で昆虫をテーマとして、11月21日～29日に筑波山おもてなし館で野鳥と紅葉をテーマに「自然のひろば」を行いました。計18日間で、合わせて2336名の来場者がありました。特に、秋は、新たに設置された筑波山おもてなし館の周知も目的に、つくば市筑波山市有林を紹介する紅葉ガイドウォークなどを試行しました。





7月自然のひろば会場



展示・観察コーナー(7月)



バードカーピング展示(12月)



紅葉ガイドウォーク(12月)

・筑波山自然環境教育事業 参加者数計 のべ108名

つくば市環境都市推進課より委託され、筑波山で自然環境を学ぶ4回の活動を実施しました。様々なコース、様々なテーマで筑波山の自然にアプローチしつくば市の自然環境について学んでいただきました。

実施日	テーマ	参加者数
6月27日(土)	筑波山麓のホタル舞う谷津田を残そう 田んぼの草取り体験・ホタル観察	26名
7月22日(水)	筑波山自然発見登山 おたつ石コース登山と山頂の自然観察	29名
8月19日(水)	つくばの川と森を学ぶ 霞ヶ浦～桜川～筑波山麓水源の森へ	33名
10月10日(土)	広根場林道と筑波山の自然展	20名



水源の沢で水質調査と生きもの観察

・自然ガイド活動 筑波山他 参加者合計 のべ317名

筑波山に遠足で来訪する子どもたちなどに、筑波山の成り立ちや岩石、南限のブナ林のこと、生物多様性の高い自然についてなど筑波山の自然を学び、環境保全への理解を進めるインタープリテーションを行いました。また、学校で、筑波山の自然についての事前学習の授業などを行い、宝篋山での校外学習活動にもインストラクターが出向きました。車いす生活で自然と触れ合う機会の少ない特別支援学校の生徒たちに筑波山の自然を感じてもらおう活動をつつじヶ丘のロープウェイ乗り場近くで行いました。



登山前の学習活動

実施日	テーマ	参加者数
5月29日	つくば市立小田小学校1、2年生 宝篋山校外学習「春を探そう！」	33名
9月29日	つくば市立谷田部小学校3年生登山	156名
10月6日	茨城県立つくば特別支援学校中1年生 筑波山の自然学習(つつじヶ丘にて)	8名
10月7日	つくば市立桜南小学校3年生 筑波山登山事前学習授業(登山は雨天中止)	70名
10月23日	稲敷市立古渡小学校3、4年生登山	30名
11月17日	つくば市立小田小学校1年生 宝篋山校外学習「あきとなかよし」	20名



宝篋山校外学習

・筑波山の自然展 参加者合計 796名

ケーブルカー山頂駅2階の休憩所を会場として、10月6日～12日の7日間、茨城県自然博物館ならびにつくば市との共催で開催しました。筑波山の自然解説パネル、博物館から借用した筑波山の岩石・動物・昆虫の標本、筑波山ブナ毎木調査とその結果についてなどを展示しました。のべ796人の来場があり、インストラクターのべ46人が参加して、展示解説や筑波山クイズ、ネイチャークラフト、野外ガイドなどを実施しました。



岩石の展示



自然解説パネル展示



筑波山のジオラマ



葉っぱのハガキづくりコーナー

5. しぜんっこくらぶ in ゆかりの森 (環境教育推進事業) 参加者総計 のべ 1161名

幼児とお母さんのための自然体験教室を豊里ゆかりの森で平成14年度より、毎年実施しています。今年も、親子で四季の移り変わりを感じ、自然へのまなざしを育てることを目指し、年間登録制で月に2クラス(水曜日及び金曜日クラス、各30組)計20回を実施しました。子どもだけでなく、お母さんたちにも新しい発見がいっぱい、お昼時間の交流タイムはお母さん同士の会話も弾んでいました。また、この活動では、以前の参加者である「しぜんっこ修了生」のお母さんがボランティアとして協力し、様々に活躍しています。ボランティア研修会も10回実施しました。

また、12月、2月、3月に体験参加を募集し、各回3組程度の参加を受けつけ、次年度への活動へつなげることができました。

水曜・金曜クラス	テーマ	参加者数
5月13日・15日	新緑の森へいこう	115名
6月17日・16日	じゃがいも掘りと、とれたて料理	122名
7月1日・3日	夏の生きもの探検隊! ~ザリガニ釣り体験	111名
9月16日・11日	生き物いっぱい! つるーんとわらびもち	115名
10月21日・23日	秋の森の宝さがし・お月見飾り	114名
11月4日・6日	♪ 森でフェスティバル! 森のパズール	103名
12月2日・4日	森のクリスマス	104名
1月13日・15日	竹ごはんとどんど焼き・焼マッシュマロ	118名
2月17日・19日	春の七草をさがそう! ~七草がゆ	127名
3月16日・11日	春を見つけよう! よもぎだんご	132名



ジャガイモ掘り



落ち葉のインディアンハット

(人数は体験参加者を含む)



雨でも元気にザリガニ釣り



毎回大人気の絵本タイム



竹の飯ごうでごはん炊き

6. つくば里山楽しみ隊 in 高崎自然の森 (環境教育推進事業) 参加者総計 のべ 344名

つくば市農業課林務係に「高崎自然の森自然体験教室事業」の依頼を受け、平成21年度より、共催で高崎自然の森での自然体験プログラム「つくば里山楽しみ隊♪」を実施しています。里山の平地林が残っていることの価値や、里山は人が手入れし利用することで自然の豊かさが保たれてきたことを伝えています。冬の森の手入れ体験は、隣接する「おぐるくの森」の維持管理をしている「つくばフォレストクラブ」のメンバーの協力を得て実施、オブジェづくりでは、にれ工房の山崎氏に指導をお願いしました。毎回多数の申し込みがあり、リピーターの参加者も多い事業です。高崎自然の森の認知度もアップし、様々に活用されるようになってきています。

実施日	テーマ	参加者
5月17日	第1回: 春の森たんけん+ピース・オブ・フォレスト (親子対象)	94名
7月29日	第2回: 森の生きものマップづくりI (小学生対象)	40名
8月5日	第3回: 森の生きものマップづくりII (小学生対象)	56名
11月7日	第4回: 秋の森たんけん+どんぐりクラフト (親子対象)	67名
12月5日	第5回: 森の手入れ体験+クリスマスオブジェづくり (親子対象)	87名



手作りプランターの実生苗づくり



生きものマップづくり



秋の森散策



クリスマスオブジェづくり

7. 筑波山麓谷津田再生事業（環境の調査・研究・保全事業） 参加者総計 のべ 853 名

筑波山のふもと神郡にある自然豊かな谷津田を存続させるために始めた沢水を利用した米づくりは、今年で 11 年目になりました。ホタルやホトケドジョウなど絶滅危惧種が安定的にみられ、サシバやサンコウチョウなどの夏鳥が子育てしています。8ha の谷津田と周辺の里山林とのつながりが、豊かな自然を育てています。今年度は体験付きオーナに 36 組の親子登録があり、毎回の体験イベントに子どもたちの笑顔と歓声があふれました。

筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会を通して野村不動産株式会社と連携して実施している「かやぶきの里プロジェクト」で、田植え稲刈り体験を各 2 回実施し、東京からのべ 380 名の参加者がありました。



田植え

・谷津田の米づくり 参加者計のべ 474 名

5 月 24 日	田植え	参加者 154 名
6 月 19 日	田井小学校草取り	参加者 10 名
7 月 12 日	ホタル観察会	参加者 73 名
9 月 20 日	稲刈りイベント	参加者 116 名
10 月 18 日	収穫祭	参加者 121 名



稲刈り集合写真



㈱アレフの皆さん（畔直し）

H27 年は「米づくりボランティア」に 13 名が登録、イベント以外の作業日 26 日間にのべ 132 名の参加がありました。ポット苗をつくっての田植えや除草を行い、無農薬で 8 枚の田んぼを維持しています。また、23 人（37 口）の支援者の皆さんに資金の協力をさせていただきました。

地元の田井小学校 4 年生 10 名が授業の一環として田んぼの草取り体験と生きもの観察に来てくれました。また、㈱アレフ（びっくりドンキー）の社員研修を受け入れ、田植え、除草、稲刈り、畔直しの年間 4 回の活動を田んぼで行い、ワラで正月飾りも作りました（参加者のべ 44 名）。

・「筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり」 参加者計 のべ 198 名

谷津田周辺の里山の雑木林で、森の若返りを図るための立ち木の伐採や下草刈りなどの手入れ、植樹作業をおこないました。「つくば薪クラブ」と連携して、里山整備で出た材を有効活用しています。またローソンや積水化学工業㈱の社員の皆様にもご参加いただき、森の整備や植樹の体験を通して里山の大切さを若い世代につたえる活動をしています。【ローソン緑の募金公募事業】



㈱積水化学工業の皆さん

大径木の伐倒作業

7 月 11 日	下草刈り	64 名
11 月 21 日	雑木の伐倒と薪づくり	15 名
1 月 16 日	枝の片づけ作業と焚火	22 名
2 月 6 日	竹林整備・植樹準備	23 名
3 月 7 日	植樹活動	74 名

8. 都市と農村を結ぶ「すそみ」の活動（連携促進事業）

・筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会

筑波山麓で活動する個人や団体が連携して、豊かな地域資源や人材を活かした都市と農村の交流を促進し、地域活性化を目指すことを目的に結成された筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会に、参加しています。年 2 回発行される筑波山麓地域情報紙「すそみろく」編集委員会に参加し、「筑波山麓秋祭り」では「すそみ茶屋」を 2 日間出店、農家の庭先コンサートなども行って、交流を深めました（参加者約 100 名）。



すそみ茶屋の庭先コンサート

9. 筑波山麓自然学校（環境教育推進事業） つくば市委託事業

参加者総計 504 名

平成 14 年度から筑波ふれあいの里の主催事業である筑波山麓自然学校の企画運営を担当しています。この事業では、一般市民が筑波山麓の自然環境への理解を深め、将来へ向けての自然環境の保全・自然資源の有効活用と地域の活性化が進むことをめざしています。地域資源を活用して、家族みんなで楽しむ自然体験プログラム、小学生以上を対象として自然をしっかりと学ぶ講座、里山のくらしや文化を学ぶ講座等を実施しました。筑波ふれあいの里の畑を利用した農体験や、調理体験も盛り込んだプログラムが好評です。今年度から、申込みの殺到する夏のイベントをハガキ申込みによる抽選としました。

○親子自然体験プログラム

6月21日	ジャガイモ掘り・ジャガイモ料理・森探検	62名
7月21日	夏の虫・むし探検隊	55名
8月23日	発見・たいけん・沢遊び	66名
11月15日	サツマイモ収穫、やきいも、森探検	38名
12月14日	焚火とクリスマスクラフト	54名
3月14日	食べられる野草を探そう・ジャガイモ植え	17名



ジャガイモ収穫

○夏の自然発見プログラム

7月26日	昆虫ナイトウォッチング	32名
8月2日	沢の生きもの観察会	37名



夏の昼食は流しそうめん



クリスマスクラフトのツル探し



100キロのみそづくり

○里山のくらしや文化を学ぶ講座

1月12日	竹ご飯とならせ餅	46名
1月31日	100キロのみそづくり	38名
2月22日	里山たんけんそぼろクレープ	59名

10. ニュースレター「TEF TEF (てふてふ)」の発行 (情報収集・発信事業)

「TEF TEF」をつくば環境フォーラムのオピニオン紙と位置づけ、テーマを設定して発行しています（発行部数 2000 部）。教育委員会の協力を得てつくば市内の小中学校にも配布し、教育活動の参考にしていただいています。また、季節ごとの活動に関しては TEF News を発行し、活動の様子を会員・関係機関に知らせるほかホームページ上でも公開しています。

【平成 27 年度発行 ニュースレター「TEF TEF」】

36号	8月発行	葛城の森づくりを実現しよう 市民参加の里山づくりをめざして
37号	1月発行	筑波山の魅力づくりのために 「筑波山四季の道」ガイドマップ



TEF News Vol.18 2014年4月発行
TEF News Vol.19 2014年10月発行

11. その他

●環境の調査・研究・保全事業

「筑波山におけるブナの結実調査」

独立行政法人森林総合研究所の依頼を受け、昨年に引き続き、ブナの結実状況の調査を実施しました。今回で4年目です。3日間のべ13人で、約200本のサンプル木について調査しました。



「つくば市自然文化財基本調査」(つくば市委託事業)

つくば市内にある巨樹等の自然文化財の調査を、つくば市文化財課の依頼を受けて行いました。今年度は荃崎地区と谷田部地区について、昨年実施したアンケート調査や文献調査で得られた候補木や現地踏査で見つけた巨樹の調査を行い、100本の巨樹・古木の位置情報、周囲長、樹高、状態等を記録しました。

●環境まちづくりへの提言活動

委員活動

つくば市文化財保護審議会 7/13 12/21 田中

つくば市市政モニター(観光行政) 田中

提言活動

・筑波山における太陽光発電事業に関する要望書提出

筑波山に建設が計画された太陽光発電事業に対し、地元住民の皆さんと連携して、茨城県知事ならびにつくば市長に自然環境保全上からの提言書を提出しました。また、設置に反対する賛同者を募る署名活動を行いました。



茨城県知事に要望書提出

交流活動

筑波山麓秋祭り(田井地区) 10/31~11/1 田中、野村、長谷川、大和田

●情報発信事業

展示啓蒙活動

アースディつくば環境パネル展 4/16~4/23

筑波学院大オフ・キャンパス・プログラム合同説明会展示 4/20 野村・長谷川

筑波山の自然紹介パネル 筑波山ケーブルカー山頂駅2階休憩所 通年

筑波山おもてなし館自然学習パネル作成(つくば市観光物産課委託事業)

つくば市筑波山市有林案内ガイド作成(つくば市農業課委託事業)



おもてなし館自然学習パネル

●環境教育推進事業

筑波学院大学オフ・キャンパス・プログラム学生の受け入れ 6月~10月

筑波大学インターンシップ学生の受け入れ 6月~翌3月

2015年5月26日 茨城県自然公園指導員研修会 講師 田中

2015年6月3日 環境NGO・NPOレベルアップ研修会 講師 田中・野村

2016年1月12日 積水化学工業(株)社員研修会にて講演 田中

2016年3月29日 江戸崎総合高等学校実習田の生きもの調査講師 永谷

筑波大学大学院自然保護寄附講座 授業 10/19 11/20 12/10 野村



【企業ボランティア等受け入れ】

2015年4月25日 NOKグループユニオン奥原支部 15名 下平塚森林整備作業

2015年5/26、7/2、10/2、11/24 株式会社アレフ 谷津田保全活動 のべ44人

2015年7月11日 積水化学工業 59名 筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり草刈作業

2015年3月11日 積水化学工業 49名 筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり植樹活動

2015年3月11日 ローソン(株)5名 筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり植樹活動

【受賞・寄付】

2015年5月29日 積水化学工業(株)より寄付 30万円

2015年9月7日 プルデンシャル生命保険(株)より寄付 10万円

その他、住宅エコポイント、公益信託エコーいばらき環境保全基金、

筑波山神社、筑波観光鉄道(株)より、寄付をいただきました。



ローソン緑の募金で植樹活動

【新聞等での紹介】

2015年7月18日 常陽リビング 「夏の昆虫を楽しくまなぶ-筑波山に自然のひろば開設」

2015年11月21日 常陽リビング 「四季の道」歩いて山の魅力再発見-筑波山自然のひろば

2016年1月22日 読売新聞 太陽光発電差し止め要望-筑波山伐採 県につくば市長ら

朝日新聞、毎日新聞、常陽新聞、茨城新聞も同内容記事掲載

2016年1月25日 茨城新聞 「筑波学院大生の実践活動報告」森づくりボランティアの活動が報告されました。